

背景と目的

背景

- 本丸御殿の復元で注目
- 全国的な歴史ブーム、お城ブーム
- リニアを契機とした新たなまちづくりへの期待の高まり
- 入城者のもてなしの場の不足

都市魅力の一層の向上に向け、本丸御殿の復元を契機に新たな交流やにぎわいの拠点づくりを行うことで相乗効果を発揮していく

目的

- 本物志向で自慢のできる、交流やにぎわいの拠点づくり
- 何度も訪れたいくなる、新鮮さのあるおもてなしの拠点づくり
- 尾張名古屋の歴史や文化の魅力を集めた観光の基点づくり

名古屋城とその周辺地区の位置づけ

名古屋城周辺地区には、名古屋の成り立ちに深く関わる様々な要素が点在しています。これらを名古屋城との関わりを考慮して大別すると、名古屋城の位置づけは以下のように整理することができます。

「歴史の中で培われた伝統文化」と「新たな都市魅力」をつなぐ結節点

伝統産業の集積地

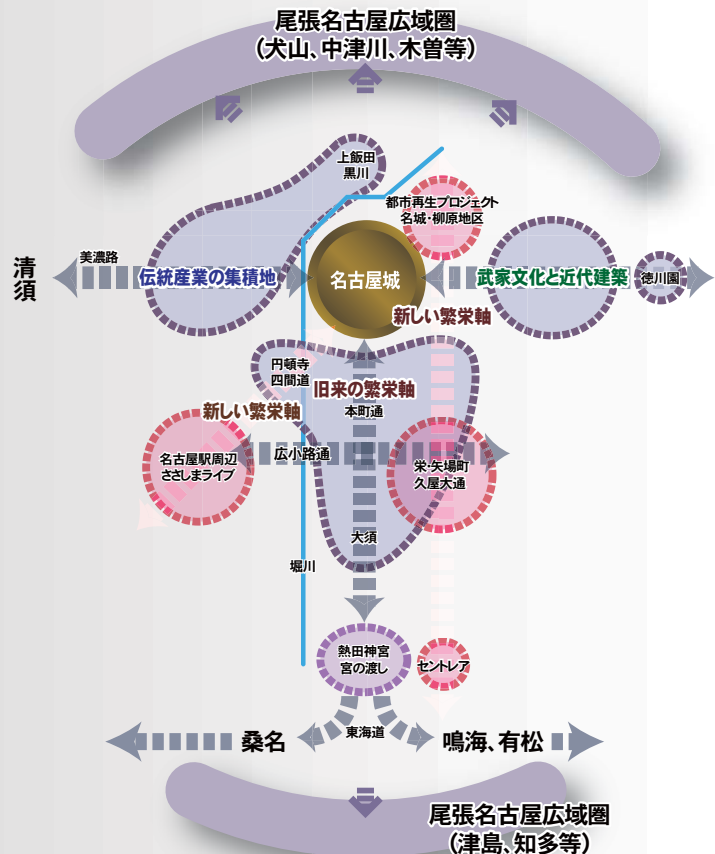
- 江戸時代より多くの職人達が住む地域
- 京都や江戸から、扇子・友禅などが伝播
- 明治以降、産業技術発展の原点

旧来の繁栄軸 + 新しい繁栄軸

- 東海道と名古屋城を結ぶ本町通
- 江戸時代から現代まで栄える広小路通
- 栄の繁華街、名駅周辺の再開発

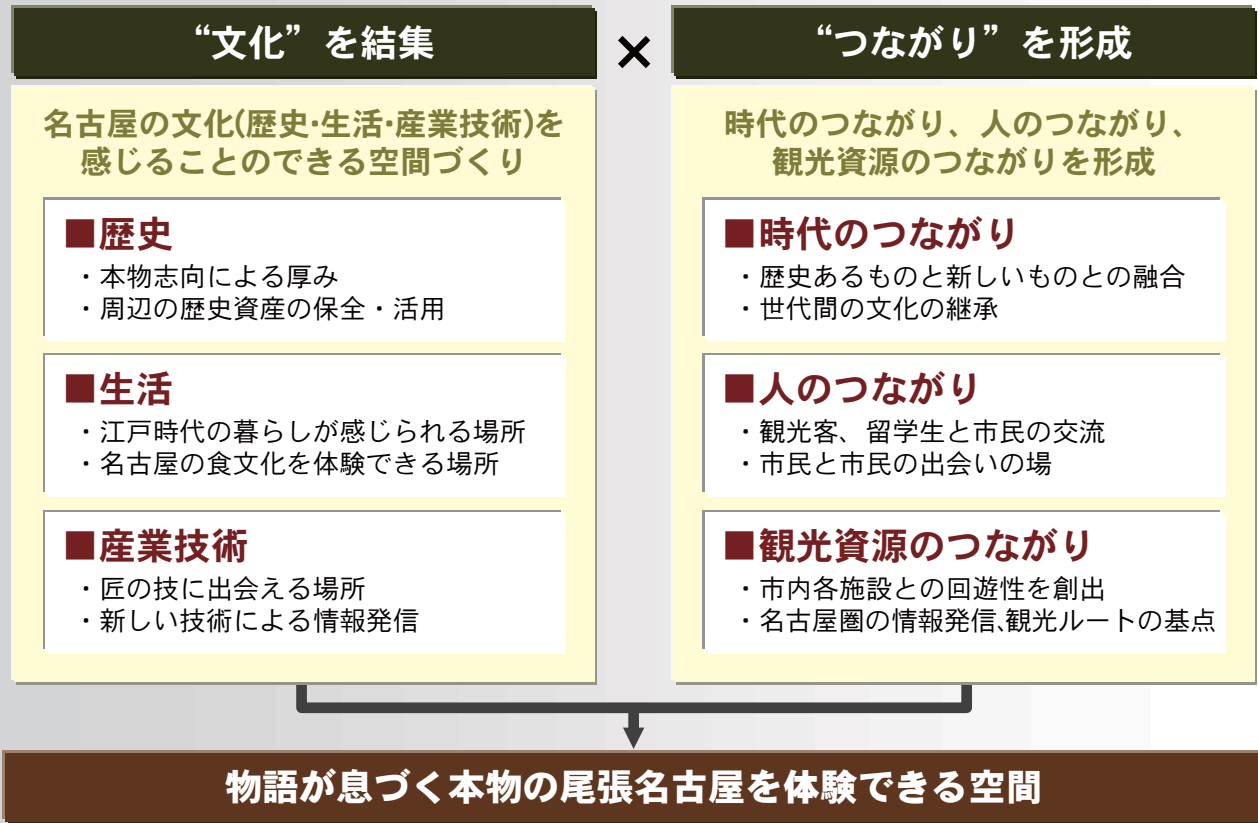
武家文化と近代建築

- 尾張藩家臣の武家屋敷
- 尾張徳川家の別邸「徳川園」
- 近代建築が建ち並ぶ「文化のみち」、町並み保存地区



構想の考え方

この構想を推進するにあたっての考え方については、以下の通りです。



連携・協働による事業推進

事業の推進にあたっては、市民や企業との連携・協働しながら進めていきます。

計画づくりへの市民参加

■ネーミングの公募

世界の金シャチ横丁（仮称）のネーミングを広く市民などから公募するとともに、その経緯を広く情報発信し、市民の愛着の醸成を進めていきます。

■計画づくりからの参加

計画づくりにあたっては、パブリックコメントや市民参加型のシンポジウムなどを通して市民の声を傾聴し、適切に事業展開に反映させていきます。こうした取り組みを通じ、市民の事業への理解と関心を深め、より一層の魅力向上に努めます。

事業への市民・企業の参加

■歴史文化に根ざした活動の場の提供

市民活動グループや個々の市民による歴史文化の保存・継承を図る様々な活動の発表・展示の場を提供するとともに、適宜専門家によるコーディネートを図るなど、その成果をより効果的に演出するための支援を行います。また大学等と連携を図り、インターンシッププログラム活動の場に向けても検討していきます。

■観光や人の繋がりを支える交流の場の提供

名古屋との関わりのある地域の伝統芸能や特産品などに関する情報の発信、定期的な地域物産展の開催など、地域と地域、人と人との交流の場となるような取り組みを進めていきます。また、外国人観光客のニーズに対応できるコンシェルジュ機能の充実も目指していきます。

■季節やイベントにあわせた多様な出店形態の工夫

常設の店舗以外に観光・行楽シーズンや各種イベント開催時にあわせて、事業者や市民グループなどが期間限定で出店できるような仕組みづくりを行います。

■多目的空間の創出

施設や空間整備にあたっては、特定の目的に特化した恒久的な施設整備を必要最小限に留め、時代のニーズに応じた多様な利用ができる構造とします。